

学生の皆さんへ

2022年1月14日

校長 田村隆弘

新年、明けましておめでとうございます。

新しい年が明け、「さあ、今年こそ」とみなさんそれぞれに本年の目標や志を立てた方も多いことと思います。しかし、3年越しの新型コロナウイルス感染症はオミクロン株への変異によって、年明け早々から第6波といわれる猛威を振るっています。福井県内でも多くの感染者が出て、今、本校においても、これまでで最も高いレベルでの警戒が求められる状況にあります。

オミクロン株は感染者数や感染者の増大する速度のデータが示すように、これまでのウイルスに比較して極めて高い感染力があります。また、ワクチンを2回打った人でも感染するケースがあります。

このウイルスの感染経路としては、長時間に渡って空気中を漂うマイクロ飛沫が有力視されています。したがって、対策としては、これまで以上に室内の換気を行うことや、対話時にはもちろんのこと市中感染対策を意識してマスクを使用すること、そして、家庭内でもできる限りマスクを使用することが大切とされています。

一方で、オミクロン株はこれまでのウイルスに比較して重症化する割合は低く、ワクチンを2回打った人は重症化しにくいといったデータも示されています。このため政府は、ワクチン接種を急ぐように働きかけていますが、感染力が高く感染者数が増大することは、結果的に、重症化しやすい高齢者や基礎疾患のある人、そして、何らかの理由でワクチンを打てない人などへ感染する可能性が高くなることにつながります。

今はまず、コロナ感染予防に全力を尽くし、全ての人の命を守る。そうした上で、出来る限り協力して日常の経済活動を維持し、人々の経済的困窮を防ぐ。また、未来のための教育を止めないよう努力するといった考え方が大切です。学生の皆さんには、くれぐれも、自分は感染しても重症化しないから、というような身勝手な考えを持つことが無いようお願いいたします。

命や人権を大切にということは、常々お話しているところですが、先日、末松信介文部科学大臣から皆さんへ「どうか、一人で悩まないでください。」といった内容のメッセージが発出されました。既に、本校のホームページでも紹介されています（以下のリンクを参照してください）。

https://www.mext.go.jp/content/20211228-mxt_kouhou02-000019790_7.pdf

他高専では、薬物犯罪やいじめなどのトラブルも発生し、報道されています。薬物犯罪は、まさに自らの命を大切にしない行為です。自身の信頼を失うことにもつながり、結果的に家族も大きな悲しみの淵に追い込まれてしまいます。いじめについては、相手の人権を踏みにじる身勝手な攻撃行為で、自分勝手な価値観や正義感を押し付けることに端を発します。人は誰も様々な背景を持って生きていることを常に考え、それぞれの生き方を尊重し合うことが大切です。時に意見の食い違う場合には、相手の立場も理解してお互いに折れ合うことが、結果的にお互いに幸せに生きることにつながります。

コロナに関しては、ワクチンに続き治療薬も承認され、利用され始めました。

この地の先人は、深々と降り積もる雪の中、厳しい冬を乗り越えるためにメガネフレームや様々な伝統産業を発展させてくれました。私たちも、先人に負けない粘り強さや我慢をもって、自身の健康と他者の人権を大切にしつつ、必ずやってくる春を待ちましょう。

皆さんにとって、良い一年になりますよう心よりお祈りいたします。